

山形県子どもの居場所づくりサポートセンター

ネットワーク通信

令和6年度 第14号
(通算95号)

発信日 令和6年10月28日
発行者 山形県社会福祉協議会
山形県子どもの居場所づくりサポートセンター



公益財団法人キューピーみらいたまご財団

「2025年度助成プログラム」・「地域の居場所づくりサミット」のご案内

公益財団法人キューピーみらいたまご財団から「2025年度助成プログラム」と「地域の居場所づくりサミット」について案内がありましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、別添チラシ又は下記 URL からホームページをご確認のうえ、ご活用くださるようお願いいたします。

【キューピーみらいたまご財団】 <https://www.kmtzaidan.or.jp/index.html>

山形県子どもの居場所づくりネットワークへの 新規参加団体について

「NPO 法人ちゅうたい会」・「山形城北ぼかぼか食堂」・「佐藤錦フードリボン」が山形県子どもの居場所づくりネットワークへ新たに参加しました。活動詳細については県社協のホームページにて紹介しておりますのでご確認ください。

(山形県子どもの居場所づくりサポートセンターホームページリンク先)

https://www.ymgt-shakyo.or.jp/kids/kids_list.html

- ・子ども食堂を開催したい
 - ・子ども食堂へ食材や寄付金などの支援したい
 - ・子どもの居場所づくりについて相談したい
- などのご相談があればお気軽に山形県子どもの居場所づくりサポートセンターまでお問合せください!

山形県社会福祉協議会
山形県子どもの居場所づくりサポートセンター
TEL: 023-641-0561 FAX: 023-626-1623
E-mail: kodomosc@ymgt-shakyo.or.jp
URL: <http://www.ymgt-shakyo.or.jp>

公益財団法人キューピーみらいたまご財団主催

\\ 未来につなぐ食の居場所 //

第15回

地域の 居場所づくり サミット

11/9 **土** 10:00~12:20

10:00~10:55

キューピーみらいたまご財団 助成事業説明

講演 「地域のハブとして『未来につながる』食育を！」

鶴岡 佳則氏

キューピーみらいたまご財団理事

農林水産省消費・安全局 消費者行政・食育課 行政専門員

10:55~12:20

事例報告① 「居場所における地域協働体験型の食育」

特定非営利活動法人 shining 理事長 岡田 聖子氏

事例報告② 「食を通じた居場所から子供たちの未来へ」

一般社団法人くじら寺子屋 代表理事 山下 千裕氏

◎グループに分かれた交流会

場所 ▶ オンライン配信

料金 ▶ 無料

定員 ▶ 200名

対象 ▶ 子ども食堂運営団体、子ども食堂
の支援団体、関心のある団体・個人

問合せ ▶

一般社団法人 全国食支援活動協力会

03 - 5426 - 2547

(平日10:00~17:00)

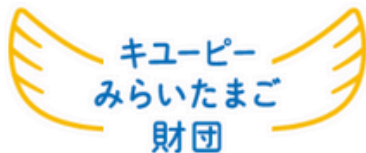
お申込み ▶

QRまたはリンクから

<https://forms.gle/jyNCPUBcZxNU3fFW9>



第1部 キューピーみらいたまご財団 助成事業説明



キューピーみらいたまご財団は、「子ども」を対象とする食育活動、食の居場所づくり活動に対する助成団体募集を行います。
2025年度 助成プログラムについて説明をします。

サミット終了後、2025年度助成プログラムについて個別相談会を開催いたします。
説明を聞かれて質問などある方も当日参加可能です。

キューピーみらいたまご財団理事
農林水産省 消費者行政・食育課 行政専門員
鶴岡 佳則氏

講演

「地域のハブとして『未来につながる』食育を！」

食育推進の現状・課題を踏まえて、子ども食堂で実践できる食育など、事例を交えてお話しします。

農林水産省に入省以来、企画・広報、消費・安全業務を担当し、特に食育問題では第一人者といわれている。官民を問わず幅広い食育活動に取り組み、全国のネットワークづくりに情熱を注いでいる。農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課 公益財団法人キューピーみらいたまご財団理事。



第2部 地域の居場所づくり講座

特定非営利活動法人 shining 理事長 岡田 聖子氏
「居場所における地域協働体験型の食育」

事例報告①

「地域で子どもを見守る」をモットーに、鈴鹿子ども食堂「りんごの家」と不登校支援の「みんなの居場所 ラピュタすずか」を軸に、乳幼児から若者までを対象とする多角的な居場所づくりに取り組んでいます。食育としては、地域の農家さんの協力のもと、子どもたちが自分たちの手で野菜作りを体験し、収穫した野菜を使った献立を考え、足りないものは買い物に行き、調理をして、みんなでいただく。“食”に関する一連の工程を体験することで、子どもたちの経験値を上げ、社会的自立に繋げていくための支援に取り組んでいる団体です。



(HPより)

一般社団法人 くじら寺子屋 代表理事 山下 千裕氏
「食をきっかけに育む子供たちの未来」

事例報告②

学習支援を中心としたオープン型の子どもの居場所。子ども達が自ら勉強するために居場所へ来ます。その入り口は「食」。毎日提供される軽食やおやつが目当てです。毎日開催することで子ども達が自分の意思で自由に参加出来ます。「食」で繋がる絆と子ども達の力を育む環境。無料のプログラム（学習支援・プログラミング教室・創作エイサー教室・食事支援・体験活動）で子ども達の未来を生きる力を育みます。



交流会

食を通じた居場所づくりに関心のある方、居場所運営団体の方、活動を支援する団体、企業の方等多様な参加者が互いに取組み、相談を共有することができる交流会。「聞く」だけの参加も大歓迎です。